

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.6.7

No. 21

ある企業の方のお話し

企業訪問をしている中である企業のかたよりお聞きしたお話を紹介しましょう。色々な話が思いつくまま出されましたので箇条書きで紹介します。一面年配者のぐちのように感ずる人もあるかもしれませんが、若者がもっときちんと受けとめなくてはいけない真理があるような気がします。



- ・生産量は少しずつ増加しているが価格押さえられて、利益が出ていない。日本の企業が今どうして利益が出ているのが分からない。
- ・電気関係の設計は個人の能力に左右されるところが大きく、機械関係に比べて個人のやったものを他の人が簡単に手直しできにくい。最近、設計者に期待するが裏切られることが少なくない。
- ・挨拶や自己表現、コミュニケーションが出来ない若者が増えている。
- ・若い従業員と面接すると、最近は家庭で夕飯を家族皆で食べる者が少なくなり、コンビニで買ったものを自室で食べているものが増えている。こうしたことがコミュニケーション能力を落としている原因か？
- ・最近の若者は1から10まで言っても5くらいしか分からないものが増えてきている。昔は1を聞いて3くらいは悟るのが普通であった。自分で考えることが出来なくなった現れか。
- ・注意するとすぐ切れる若者が増えている。年配者が若者の顔色を見ながら対応しているような状況はどうかと思う。
- ・年配者を敬うことが出来なくなっているのはどうしたものか。
- ・学校の成績だけではなく、元気で挨拶が出来る子の方がよい。
- ・学校の成績と企業の求めるものは違う。学業ではなく、人間的に優秀な人が欲しい。
- ・中国人のような前向きさが日本の若者にはなくなり、これからが心配。
- ・起業をしようという人が日本では少なくなっている。これから日本の工業は(日本そのものが)どうなるのか非常に心配。



1を聞いて3を悟れるか？

最近すべてを教えないと動けない若者が増えているという実感は確かに感じます。昔の親は忙しく、子供にすべて関わることは少く、結局子供は自分で考えながら行動しなくては行けませんでした。

最近の親は少ない子供に手が行き届き、何でも先回りして子供の面倒を見ている場合が少なくありません。その結果子供は自分で考えることができなくなり、いつも指示がなければ動けなくなっています。もとよりいつまでも親が子供の世話をし続けることはできません。

せめて1を聞いて3を悟れるようになっていかないと、世の中に出たとき使い物になりません。皆さんも、人から指示をされるまで動けないのではなく、自分で考えて行動できるよう心がけてほしいものです。